

DIFAR 通信

発行 NPO法人DIFAR事務局

2021年5月1日 VOL. 36



JICAとのプロジェクト契約がようやく完了し、ついにプロジェクト第2フェーズが本格始動です。この日は、日々の活動の感謝状もいただきました。日本で支えてくださっている皆様、いつも本当にありがとうございます。

今号のもくじ

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 表紙 | 5 ナショナルボランティア自己紹介③ |
| 2 表彰式レポート(現地スタッフより) | 6 森の音楽祭ムービー撮影(国内事務局より) |
| 3 ナショナルボランティア自己紹介① | 7 森の音楽祭告知/プロジェクト告知 |
| 4 ナショナルボランティア自己紹介② | 8 2020年度寄付者一覧 |



DIFARとは、ボリビアで使われているスペイン語 Desarrollo Integral de la Familia Rural
「農村生活の総合的な発展」の頭文字です。ディファルと読みます。



バジェグランデ市の表彰式に参加しました！

瀧本里子さんの依頼を受け、4月 12 日(月)にバジェグランデ市で、市の発展に貢献した人物、組織に与えられる感謝状のセレモニーに出席しました。

この式典では、DIFAR と瀧本里子さん個人が表彰されることになりました。

DIFAR はリサイクルプロジェクトを通じて環境の質向上に対する推進・貢献を表彰されまた教育部分でも高い評価をされました。

また、個人の表彰も行われ、人格的に優れバジェグランデの発展に貢献したという事で数名の方たちが表彰されました。

午後は、リサイクルセンターを訪問しました。しっかりと機能していて DIFAR の仕事の成果を現場で見ることができるのは非常に満足でした。

DIFAR 会計士 ペレグリナ・ウルタド



今回のセレモニーは実質、市政交代前の最後の区切り、という形でした。こういう形で感謝の意を示していただき、私たちからも一人ひとりに「ありがとうございました。お世話になりました」とお礼が言えたのは本当に良かったです。一期一会という言葉がぴったり来る瞬間でした。

私も DIFAR の代表として、市長さんや市議会や、住民の方たちに関わらせてもらい、特に市長さんや市議会の方たちはあと数日で役職を離れ、また別の道に進まれます。その時の立場でこそできることを一緒にさせてもらい、お互いやり切った、と讚えあえるのはとてもいいなと思いました。

市長さんはバジェグランデ市にこのプロジェクトを導入できたこと、そしてその導入のきっかけは、自ら先行プロジェクトのコマラバ市に視察に行き、直接プロジェクトを要請したこと、簡単には資金は下りず、自分たちでまずは 2 年、自助努力を見せたことをとても誇らしげに話していました。市長さんとしてとても良いお仕事をされ、最高のパートナーであったと改めて思いました。次の市長さん以下関係者の方たちともよい関係を築いていきたいです。

現地代表 瀧本里子

自己紹介

JICA ナショナルボランティア

浮池 克義

皆さんこんにちは！僕の名前は、浮池克義です。ボリビアのサンファン移住地（日本人移住地）で生まれ育ち、高校までサンファンに住んでいました。大学はサンタクルスの UAGRM (Universidad Autónoma Gabriel René Moreno)で勉強し、22歳の僕は今年大学を卒業します。



今年の1月から、ボリビア日系協会連合会で JICA ナショナルボランティアとして働き、ボリビアに住む日系人の青少年活動を担当しています。青少年活動の目的は、ボリビアにいる日系の若者同士の繋がりを作ることです。この繋がりと共に、日系の若者が彼ら自身のアイデンティティを確立し、日系社会とボリビア社会との関係や絆を強化していくたら嬉しいです。今後の活動として、

- ❖ ボリビアに住む日系の若者が集まったグループ ANIMO (Amigos Nikkeis en Movimiento) のメンバーを増やす。
- ❖ ANIMO グループのメンバーと定期的にオンライン交流会を行い、意見交換や情報交換をしながらより信頼できる環境を作り、友情を深める。
- ❖ 日系人のアイデンティティと日本文化をテーマにしたオンラインセミナーを開催する。このセミナーは、一般の方を対象に日本文化を楽しく、クリエイティブに広めていくことが目的です。
- ❖ ボリビアの発展に対する日系コミュニティの貢献についてのプレゼンテーションを UAGRM 大学で行う。

を予定しています。JICA ナショナルボランティアとしてこれらの活動を行い、日系人のアイデンティティの確立に貢献できることをとても光栄に思っています。よろしくお願ひします。

自己紹介

JICA ナショナルボランティア

宮前 世界

皆さんこんにちは！僕の名前は宮前世界です。年は23歳、出身はボリビア・サンタクルス県にあるサンファン日本人移住地で、日系三世です。今はガブリエル・レネ・モレノ大学の農学部で勉強しています。

今年の1月から JICA ナショナルボランティアとしてボリビア日系協会連合会で同じくナショナルボランティアの渡辺紗生さん、浮池克義君とともに活動、コミュニティ開発を担当しています。主な活動として、日系青年を中心としたオンラインでのイベントなどを行っています。ボリビア日系の交流の機会を増やすことで、日系社会の活性化につなげていこうという考えです。

今後は日系社会のみならず、ボリビア社会に向けても日本文化を発信していく予定です。日本食の作り方や、日本のサブカルチャーなどをテーマにした、日本に興味を持ってもらえるようなイベントを企画していこうと考えています。今、できることを一生懸命やっていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



左から：自分（宮前世界）、渡辺紗生さん、浮池克義くん

自己紹介

JICA ナショナルボランティア

渡辺 紗生

皆さん、こんにちは！JICA ナショナルボランティアの渡辺紗生です。出身は埼玉県ですが、ボリビアで日本語教師をして15年になります。きっかけは20年前、日本人移住の歴史を何も知らずに訪れた南米のこの国で、日本人の顔をし、日本語を話す人々が多く存在することにとても驚かされ、移住の歴史や日本人移住地の人々に魅了されたことでした。10年間勤めたオキナワ移住地（日本人移住地）の学校では、子供たちは沖縄文化を学び、日本の国語の教科書を使って勉強していました。日本人移住120年の歴史を持ち日系人の多く住むこの国では、日系社会において日本文化の継承や日本語教育はとても大切にされ、毎年、盆踊りや運動会、成人式や敬老会など日本を思わせる行事が各日系団体で行われています。

現在私は JICA ナショナルボランティアとしてボリビア日系協会連合会に配属され、コロナ災禍でストップしてしまった日本語学校の対応や、オンライン教授法の指導など、ボリビア日本語教育技術の向上を目指し日本語教師の先生方に定期的に研修会を行うなどの活動をしています。また、今後は日本語教師育成事業やボリビア社会への日本語・日本文化の普及も視野に入れオンライン授業も展開していく予定です。よろしくお願いします。



一緒に働いているボランティア仲間と

森の音楽祭ムービー撮影

国内事務局 高野栄

2020 年度の森の音楽祭は、新型コロナウイルスの影響により、従来の形での開催を断念せざるを得ませんでした。オンライン形式や、感染対策措置をとつての開催も検討されました。感染者数増加の状況などを考慮し、中止となりました。

楽しくピザ作り中♪



そのため今年度は、津市からの助成金の使い道として、「森の音楽祭の PR 動画」の作成をしました。

動画作成のため、2/21(日)に撮影日を設け、ドローンの撮影会社に撮影依頼をしました。十数人で集まって、ピザ作りや音楽演奏を楽しむ様子をドローンで撮影・編集していただき、3月末、PR 動画が完成しました！

焼きたてピザ、とっても
美味しかったです！！



この動画は、津市内の小学校に多文化共生の授業の一環として使用していただくよう配布する予定です。また、HP内に掲載し、次年度以降の音楽祭への参加を検討されている方に、参考にしていただきます。

第8回



詳しい情報はホームページをご確認ください



- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた三重県の開催基準を基本にします。
- 事前予約をされた特定の参加者で行います。（連絡先の登録）
- 発熱などの症状、感染リスクの心配のある方は参加をご遠慮ください。
- マスクの着用をお願いします。
- こまめな手洗いを心がけます。
- 開催の可否については、状況の予測ができないため、変更する場合もあります。
- 出演者、出店者、その他開催内容については 順次ホームページでお知らせします。

<ボリビアと日本で同時期にごみ拾いチャレンジを開催します！>

5月中旬から6月上旬ごろ、バジェグランデ市民を中心に(ほかの市にも広報予定)市内のごみ拾いを行います。拾ったごみは、昨年作成したごみ分別アプリに沿ってごみ出しを行います。

参加方法は、市内の自分が綺麗にしたい場所を選び、清掃前と清掃後の写真、または活動中の写真を撮影し、指定のページに投稿するだけです。

この活動に、ぜひ日本の皆さんにもご参加いただきたいです！同時期に日本でも開催することで、ごみ拾いという自分ができる小さなアクションを色んな場所で実施している、という一体感を共有することができると考えています。

集まった写真は、JICAプロジェクト第二フェーズの開始の式典で、流す予定です。ぜひ皆さんの素敵なお写真をメールで送ってくださいね♪ 宛先: info@difar.jp

2020 年度の会員様、ご寄付いただいた方々、ありがとうございました！

裏谷徳美	御所野春美	長澤晴子	福島千賀子	渡辺幸子	三角文
原れい子	高島トシ子	小竹きみ子	長峯オスカル	倉田	山崎由喜恵
星野玉喜	チョヨンホ	只野あい子	田口ミク	草深裕伊	平野加代子
山本和子	島田剛	松川春子	曾我定治	岩崎節子	平山義章
萩野進	池島あや子	熊田理恵	平山明美	水本洋子	清水真由美
伊藤典子	大角宏一	西村知子	(株)ノート	平野とよ子	村井フェルナンド
小林恵利子	新島里子	下村敦子	田村桂子	吉牟田信恵	大角宏一
杉浦篤	宮崎好和	鈴木麻知子	佐藤雅美	高山達子	(敬称略)
佐藤多恵子	大川裕司	山口正彦	和田悦子	鎌田茂樹	
井上和美	瀧本一	金子新司	星野玉喜	細田正敏	
瀧本規久子	原田篤実	水口亜紀	高嶋章光	川田照義	
瀧本幸弘	岡本彰	堀井靖枝	斎藤俊康	河村佐久子	
竹本人見	矢田隆	井上和美	大城由美	長嶋良子	
瀧本正明	伊藤英子	樋口康雄	松本修	福田典子	
木村寿志	立花由美子	畠節子	熊田理恵	坂本朝江	
加藤ゆりか	一鍼灸院	原田礼子	千代ゆきえ	松川春子	

活動支援のお願い

DIFAR は会費と寄付金、助成金、物品販売の利益等で運営しています。ボリビアに日本の声が届くように、ボリビアの活動や文化、人の動きを日本に伝えるために資金が必要です。皆さまのご協力をお願ひいたします。

[寄付] 随時受付中です。切手で寄付していただくことも可能です。

[会員] **正会員 5000 円／年** (会の運営に参加できます。総会で議決権があります)

賛助会員 3000 円／年 (会の活動を応援してくださる方)

マンスリー会員 1000 円／月 (希望により、正会員か賛助会員か選んで頂けます。

会費は月々1000 円からお納め頂けます)

法人会員 一口 20000 円／年

会員の特典 会報誌「DIFAR 通信」をお届けします。会主催事業の案内、毎年 DIFAR カレンダーをお届けします。会主催の講演会に無料で参加できます。

【振込先】

郵便振替口座 00890-0-122793 トキ)ディファル、

三菱東京 UFJ 銀行 店番 450 普通 0649345 DIFAR

NPO 法人 DIFAR 事務局 〒515-3421 三重県津市美杉町八知 1383

Tel: 090-9181-4554 メール: info@difar.jp URL: <https://difar.jp/>